ながながひょうたん会議の日程が決まらず、調整するより日にちを決めて、集まりワイワイ。しみじみ「平和」のありがたさを再認。…あとは何が決めることはなかったか？って、「テーマ」。まあ言うなら「テーマ」!!……

Let's Search For Tomorrow!

―明日を探そう―

山の口焼　辻口康夫

だんだん歳を取り、毎日の時間があっという間に早く進んでいく感じがする。そこには、いろいろな事に追われて時間が過ぎるのを早いと思うのか？自分は、実は充実した毎日を過ごせていて、楽しい未来を見つけようとしているからだと思いたい！

鯉のぼりそれより俺は窯開き　ジュン

今年も、山の口食堂では春窯めぐり期間限定メニューで、『キーマカレーセット』をご用意して皆さまのお越しをお待ちしております。　山の口食堂 11:30－14:00

陶丘工房　末石昌士

歳を重ねて行くと、もう昔のペースでは出来ない。忘れ物も多くなって来る。『明日を探そう』のテーマが『出来る事を探そう』になる（笑）只、できない事を受け入れる心は、大切にしたい。

人と比べない、足りないままの自分を楽しむ、ドラマとしての自分を楽しむ。楽しい事を楽しむのは当たり前だけど、苦しい時をドラマとして楽しめるのはなかなかだと思う。テーマを考えていると、ふと、『千と千尋の神隠し』の歌が流れてきた。

"繰り返すあやまちのそのたび人は、只、青空の青さを知る"

なるほど、と思い。さらに、テーマの答えような……

"始まりの朝、静かな窓、ゼロになる身体、充されていけ、海の彼方には、もう探さない、輝くものは　いつもここに　私の中に　見つけられたから……"

知らざりし岩戸の光山桜　風人

『Let's search for tomorrow』
明日を探そう！　か？
今回のテーマ。
悩みます。
あれこれ考えを巡らせてたら、そういえば、昔、井上陽水の♪探し物は何ですか？♪みつけにくいものですか？♪ではじまる歌があった。
歌詞を見ていくと机の中とカバンの中からハサミや定規、消しゴムを探す歌ではないようだ。
中盤にグッグッとくるフレーズがあって、たぶん陽水様もこれが言いたかったのであろう！と勝手に解釈している。結局、探すのを止めた時、見つかることがあると言ってる。
私はこの歌詞に一票を投じたい。
わたしは明日を探さない。

工房樹機　井上由香里

戸口まえ春のたけのこ　座つてた　樹丸

水の平焼　岡部祐一

今回のテーマは、Let's search for tomorrow（明日を探そう）。いつもにも増して壮大なテーマである。

ほぼ一人で仕事をするようになってから、なかなか先の事まで気が回りづらいこ数年ではあるが、八代続いた当窯元にとって、明日に向かうためのヒントは過去の歴史の中に転がっているように思う。

五代目（曾祖父）の頃は職人さんも多くいたらしく、ナマコ釉だけではなく結晶釉や白薩摩風のものなど、これもウチのやきものなのか？と思うような様々な色やかたちのものが残っている。（といっても、完品は商品として販売してしまっているので、ウチに残っているのは少しキズが入ったものなどが多いのだが……）

そんな中から、今年はまず何かひとつ、歴史から明日を探すチャレンジに取り組んでみよう、かな。

薫風に吹かれ旅立つ明日探し　陶広

森山陶器　森山　至

性格的に流れに身をまかせることが多い。例えば陶芸家になったきっかけもそうだ。

自分の人生の流れの中で、成りたいものがあったのではなく成りたくないものがあっただけである。そんな中でようしょようしょで、行き先を舵取りして進みたい方向を選んできた感じである。

この先の世の流れも厳しそうと感じるのだが、落胆せずに乗る船を自分なりに快適に過ごせるようにカスタムして、激流にのぞむのが良いと思う。

自分の場合は、良い音楽を聞けるようにしたり、季節季節の美味しい食べ物を用意したり、釣り竿を伸ばして釣り出来るようにしたり、猫も乗っけたり、などなどと思い思いの仕様にして楽しく流れて行きたいと思っている。

陶房スイ　井上知江

ピンクが1番大好き♡な娘（4才）ですが最近は紫が好きだそうです。紫のどんなところが好きか訊くと「見てるとドキドキしてくるから」との返事。

「お母さんもそんなふうに思ってもらえるお皿が作りたいなぁ。どうしたらいいかなぁ。」

と言うと

「んー。おかあさんのハートにおきゃくさんの心をいれたらいいんだよー。あっそれと朝と夜も入れるといい。」とのお応え。

全部はわからないけどありがたいお言葉をいただきました。

ありがとう娘先生。

（大きくなってこんなこと言ってたと伝えたら、はあ？と言われそうだけど）

コレとコレでどんな色になるかな、こんなことしたら変かな…などドキドキしながら作りますが、窯を開ける時のドキドキはまたひとしお。

手に取っていただけた人にもなにかドキドキとしたものが伝わるように、今はわからない言葉にも何か得るものがあるのではないかと、日々模索していきたいです。

デザインは無視
吾子のパジャマはハイウェスト　スイ

鬼池焼光窯　野﨑秀登

まだ幼かったからかもしれませんが、小学生の頃の未来はやけに明るく輝いていたような記憶があります。少しずつ成長するにつれ自分と自分の周りの環境がわかるようになり、現実の中でどう生きていくかが問われるようになって、世の中は明るいだけではなく、暗く辛い面がたくさんあるのだということが判ってきました。しかし、その頃からエネルギーや公害、自然環境破壊そして地球温暖化の問題が顕在化するようになり、個人的な生き方の問題ではない次元の異なった不安の予感が漂い始めました。そして今、人類の手になる最悪の所業・戦争が世界の多くの場所で進行しています。

人類は、この星の上で多くの貴重な経験を蓄積してきたにもかかわらず、なぜその悲惨は繰り返されるのか？改めて無力感に苛まれてしまいます。しかし、今を生きている者たちがもう一度未来に向かって希望を見出し次世代に繋いでいかなければ、本当に子供達や孫たちの世界に光はありません。

Let's Search For Tomorrow」どこで、どういう明日を探せばいいのだろう。

土に携わり、創作にかかわるものの一人として、また天草の片隅に生きる民草の一人として一筋の光を見つけるために歩みを前に進めたいと思います。まったく具体性に欠けますが、作ったものを介してつながる人と人の関係、地域の中で続けてきた小さなイベントの継続。その広がりにかかわることが私にできる「明日の探求」でしょうか。

波斯（べるしゃ）のバラ
嵐にめげず咲き誇れ　Luz